

いたやなぎ 町議会だより

令和2年
12月定例会

第28号
2021. 2. 12



主な内容

- 5人が一般質問 P2～6
- 常任委員会審査 P7
- 一目で分かる審議結果 P8
- 研修報告 P9

板柳南小学校の長谷川咲那さんに夢を語っていただきました。

保育園年長の頃から看護師になりたいと考えていた長谷川さんの目標とする人は、看護師として働いているお母さんとのことです。

今後は、看護師になるために普段の勉強と、陸上の走り幅跳びの記録を伸ばすために練習を頑張りたいとのことでした。

板柳町の夢追人！
～笑顔が一番！優しい看護師になりたい～

板柳南小学校5年生 長谷川^{さきな}咲那さん

町民の声を町政に

第4回定例会一般質問

第4回板柳町議会定例会が12月4日から9日までの日程で開催されました。12月7日に行われた「一般質問」に、5名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、1人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。



長内良蔵

令和3年度の行事等の開催

問

本年度は、新型コロナウイルスの影響で行事やイベントが相次いで中止となっている。来年度予定される行事やイベントについて、規模を拡大しての開催等を検討してはどうか伺う。

答

(成田町長) 来年度、規模を拡大して開催することについては、私も同感である。今年開催できなかった悔しい思いを来年につなげて、今年の分まで楽しんでもらえるイベントが必要だと思う。具体的な内容については、今後各実行委員会や関係団体と検討していくが、町でもできる限り支援したいと考えている。

問

夏の花火大会で、思い切って5,000発上げられるくらいPRをしてお客さんを集めることを考えてみてはいかがか。

答

(成田町長) 担当が商工会なので、町でどれぐらいの協力ができるかについては今後検討していきたい。



問

行事やイベントを盛り上げるPR、集客にもつなげるPRをするための予算等について確保する考えがあるか伺う。

答

(成田町長) 行事やイベントを盛り上げ集客を高めるためのPRや情報発信について、どのような方法が最も効果があるのか、それに関わる予算についても関係団体の要望を聞きながら新年度の予算編成の中で検討したいと考えている。

問

10月の第3日曜日に中泊町でため池ウォークというイベントがあり、中泊町長が挨拶で、中泊町のPRに専念しており、販売商品が完売になっていた。町長もいろんなイベントに出て、町のPRに努めているが、もっともっと積極的にイベントに参加し、発信するための旗手役となつてはいかがか。

答

(成田町長) 中泊町長は本当に活発で、町村会においても一番元気な町長の一人だと認識している。いい点は我々も真似していかなければいけないし、これからはいろんな場面で町をPRしていければいいと思っている。



問

まるかじりウォークについて、全国から2,000人ぐらいを集める大きなイベントにして、町長が挨拶で、板柳のものを発信すれば、販売促進につながると思う。予算的な面で考えていることはあるか。

答

(成田町長) 関係団体と内容を詰めながら、できるのであれば、予算支援していきたいと考えている。関係団体や実行委員会にはどんどんアイデアを出していただければと思っています。

問

担当課のほうで調べていることはあるか。

答

(工藤生涯学習課長) 来年度の予算要求について、テレビコマーシャル、報道機関を使ったPRを考えている。





今 浩一

バーベキュー施設の進捗

問 町側は建設場所を二転三転し、変更案を出すものの、いまだに先が見えない状況である。町の方針と進捗状況を伺う。

答 (成田町長) 予算計上している実施設計を執行し、速やかに入札に付しても実施設計書が完成するのは翌年3月となり、本工事については次年度予算での対応となる。

要望 元の場所から移動することを前提ではなく、コスト面も考慮できる元の場所付近に一日でも早い完成を目指し、町民の皆様が利用できるように改めて強く要望する。

新型コロナウイルス感染症拡大に
対する町の危機意識及び
連携体制について

問 いまだに収束のめどが見えない中で、町民の安心・安全な暮らしを守る上で、町ではどのような危機意識を持っているのか。県などの関係機関との連携体制並びに当町において特に連携が必要と思われる小中学校・保育所・学童クラブ、施設を管理委託している指定管理者との連携体制はどのように行われているのか伺う。

答 (成田町長) 引き続きマスクの着用や手洗いははじめ3密の回避、身体的距離の確保といった基本的な感染対策を町民一人ひとりが日常生活の中で心がけていくよう、さらに注意を喚起したい。

また、小学校を臨時休校する際は学童クラブを所管する介護福祉課と連携し、事前に臨時休校の情報を共有しながら行っている。保育所、学童クラブにおいては、感染者、濃厚接触者が発生した場合は、施設からの連絡を受けて、県の担当課とも相談して対応を決定する。

町発注の工事
関係の入札

問 入札に関する最終決定者は町長となっているが、入札の過程において板柳町競争入札等級審議会(等級審議会)及び板柳町建設業者指名委員会(指名委員会)が関わるが、双方の役割とは何か。どちらも関係規則等に準じて適正に行われているのか。

答 (成田町長) 板柳町競争入札等級審議会の役割は、競争入札の参加者の資格の認定及び等級の決定に係る施工能力について審議することである。

板柳町建設業者等指名委員会の役割は、指名業者等の適格を審査することである。どちらも規則に準じて行っている。

問 現町政は等級名簿にさえ記載されている業者もいろいろと解釈しているが、本当にそれでいいのか。

答 (村上副町長) 町に指名願を上げている方の中で、運用基準があるので、工事実績、工事成績を勘案する必要はある。

りんごワーク研究所に
対する財政支援

問 長期借入れ8,000万円の財政支援から支援金交付1億円へと変更になった理由は。

答 (成田町長) 町からの長期貸付けで対応した場合は、一時的に経営状況が改善されても、将来的に借入金の返済が再び経営を圧迫することが検討材料として挙げられた。事業継続を図る上でより一層の支援が必要であると判断し、内容を変更した。

問 この問題の採決を議会ですべて判断することは簡単だと思っっているのか。

答 (成田町長) りんごワークの経営問題は大変大きい問題である。議員の皆様にはしっかりと説明をしてご理解をいただかなければならないと認識している。

問 令政会並びに無所属議員はふるさとセンター所長及び企画財政課長を通し再建計画となる具体的な資料の要求をされるとともに、りんごワーク研究所次長を通し現場の話聞き、9月中に急遽開かれる可能性がある。ある臨時会に備えてきた。ところが、町は一度も協議、審議の場を開かないので、担当課であるふるさとセンター及び企画財政課には何度も協議、審議の場を開くように提言したが、残念なことに町長は一度も応じていることはなかった。9月中旬に早急に言っていたあの言葉は何だったのか。

答 (成田町長) 時間がかかったかもしれない。ただ、りんごワークを案じて慎重に検討した結果であるので、その点は配慮がないと言えればそういうことになると思う。

問 りんごワーク研究所の経営のトップでもある理事長(町長)の経営方針と経営理念は何か。

答 (成田町長) 板柳町の産業の振興に係る事業等を行い、町政の発展及び町民生活の安定向上に寄与することを念頭に置き、運営に当たっている。経営理念としてはいつも前例にとらわれず挑む姿勢が非常に大切だと考えている。



葛西 幸男

成人式出席者

問 新型コロナウイルスの感染拡大による対策が取られている中、当町においては成人式を開催する予定となっている。クラスター発生が懸念されるため、参加される方についてはPCR検査を受けさせたほうがよいと思うが、いかがか。

答 (永澤教育長) むつ市では、4000人から4500人の出席者のうちの約7割が県外から来る。板柳町は120人前後の対象者のうちの約4割が県外から来る。町としては、マスクの着用、消毒の徹底など、基本的な感染対策のほかに3密を避けるための来賓者の人数制限や会場を大きく使い、人と人との間隔を1メートル以上空けることを考えている。

また、式典後の懇談会は、今年度は中止する対応を考えている。

問 新型コロナウイルスの検査は保健所でやるのか。

答 (工藤生涯学習課長) 検査キットを新成人の方々に送り、そちらを近隣の病院に届けて、結果が出たら証明書が出る流れである。

問 検査費用は1人2万5,000円ぐらいかかることである。予算措置は考えているか。

答 (成田町長) 成人式は人生の中でも最も大事な節目の一つであるので、できる限りやってあげる環境をつくってやるのが私たちの役割だと考えている。PCR検査のことも含めてどのようにしていくか教育委員会と検討したい。

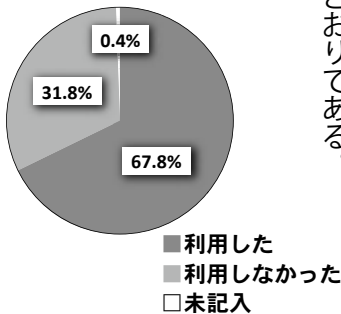


ひとり暮らし高齢者 無料入浴券配布事業

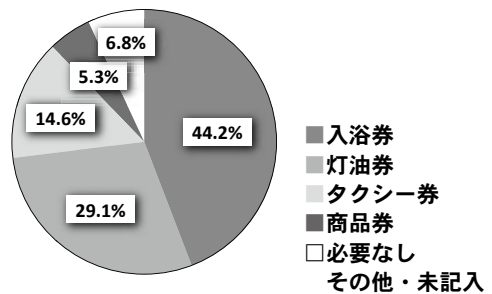
問 4月1日現在で条件が満65歳以上の在宅独居高齢者に対して入浴券20枚を配付しているが、利用者は少ないと聞いており、支援を目的とする事業ならば対象者のニーズに合うような見直しが必要と考えるが、いかがか。

答 (成田町長) ひとり暮らし高齢者の支援には各地区の民生委員が大きく関わっており、一部の民生委員からも、無料入浴券の事業が利用者の希望に合っているのかという声が出ています。このため町の民生児童委員協議会では、ひとり暮らし高齢者の意見を把握するため先頃アンケート調査を行った。結果は次のとおりである。

入浴券使用状況(回答者547人)



支援希望



問 高齢者ともなれば車の運転をあまりしない人が多くなると思う。私としては油券がいいと思うが、いかがか。

答 (成田町長) 入浴券のほかにも色々なことに使っていたらいいということなので、葛西議員から指摘のあった油券も含めて今後検討していきたい。

今後は、改善するところは改善をし、一人でも多くの高齢者に喜んでもらえるように、新年度の予算編成の中で検討したいと考えている。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は3月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

月日	内容
3月3日(水)	本会議 特別委員会報告等、提案理由の説明 予算特別委員会の設置
3月4日(木)	本会議 一般質問
3月5日(金)	常任委員会 総務産業厚生・福祉建設文教
3月8日(月)	特別委員会 予算特別委員会
3月9日(火)	特別委員会 予算特別委員会
3月10日(水)	本会議 委員長報告、質疑・討論・採決

※開催時間はいずれも午前10時です。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、本会議を傍聴することができます。なお、傍聴の際は、マスクの着用をお願いいたします。





工藤 貢

高収益作物次期作支援 交付金の支給要件の変更

問 新型コロナウイルスの影響に関係がなくても

当町では10アール当たり5万5,000円の交付対象になるとりんど農家から申請を受け付けた。その後国では支給要件を突然変更し、りんど農家は大変混乱している。既に国からの交付金を見込んで農業機械や車両の購入をしている農家もあると聞いている。これまでの経緯及び今後の町の対応について伺う。

答 (成田町長)

7月上旬に農林水産省から事業創設の発表があり、当町では8月に申請の受付を行った。ところが、10月に、国から急遽、当初は不要だった減収額の申告を追加で求め、減収額を超えない範囲

で支払うとの通知があった。10月30日に、変更前よりも交付予定額が減る農家の救済策として、次期作に向けて新たに機械や施設整備、資材等の購入または発注を行った生産者を対象に支援することに方針を変更した。町では12月7日から12月17日まで、再度受付を行うことになった。

要望 再度申請された方には一日も早く交付金が届くように作業を進めていただくよう要望する。



津軽横断道路の整備

問 津軽横断道路が完成すると、津軽地域の産業

振興や観光振興など様々な波及効果が期待される。県が進めている事業だが、町民の皆さんは一日も早い完成を望んでおり、今後の整備計画はどうなっているか伺う。

また、町ではこれまで津軽横断道路の整備に向けてどのような活動をしているか伺う。

答 (成田町長)

今後の整備について県に確認したところ、板柳管内では主要地方道五所川原岩木線の高増工区約2・8キロメートルの用地測量調査を実施し、今年度から用地取得を行い、計画的に整備を進めていると伺っている。

また、津軽横断道路建設促進期成同盟会のほかに町単独でも要望活動を実施しており、今後も様々な機会を通して予算の確保と整備促進に向けた活動を積極的に展開していきたい。

岩木川管理用通路 (小堤防)の整備

問 ようやく飯田地区にお

いて工事が完了し、りんど農家は大変感謝していると聞いている。岩木川下流部の板柳地区についても今後計画があるのか伺う。また、これまで管理用通路の整備に向けて、町ではどういった取組を行っている

たか、今後の活動と併せて伺う。

答 (成田町長)

国土交通省青森河川国道事務所を確認したところ、今年度地に元説明会を開催する予定で、工事着手に当たっては地元の合意形成や協力体制が必要であると伺っている。

また、これまで国などに対して議会と飯田、板柳地区の対策協議会と要望活動を実施している。今後も引き続き要望活動を行うほか、板柳地区の合意形成が図られるよう関係機関との調整などを支援したい。

十川河川改修事業

問 これまでの度重なる大

雨により、十川流域の一大帯が浸水被害や水稲が冠水するなど甚大な被害が発生している。町民が安全で安心して暮らすために、十川の河川改修の整備がますます必要だと思うが、町長の考えを伺う。

答 (成田町長)

県に確認したところ、現在は下流部の河川改修を重点的に実施しており、今

年度は国の3ヶ年緊急対策事業により夕顔関橋の上流区間において樹木伐採を実施しており、水害の防止低減に努めると伺っている。

これまでも十川改修促進期成同盟会のほかに町単独でも要望活動を実施している。今後においても、流域住民の安全・安心な暮らしを守るため、様々な活動を通して整備促進に向けた活動を続けたい。

問 十川に合流する浪岡川

は以前に伐採した柳の木が今では川が見えないほど生い茂っており、このままの状態では川が増水したときは大変なことになると思うが、町長の考えを伺う。

答 (成田町長)

大雨や台風のときは災害につながるのではないかと心配している。あらゆる機会を通して、県に強く要望していきたい。





松森 俊逸

りんごワーク研究所理事長である町長の経営責任

9月議会閉会直後の9月10日、りんごワーク研究所が翌10月には資金枯渇するので、一般会計から8,000万円の長期借入と3,000万円の基本財産増資を行いたい旨の話が町側から唐突になされ、県からの指導も仰いでとのことであったにもかかわらず、その後、一切の追加説明や経過報告もなく2ヶ月余経過した11月19日になって、今度は一般会計から1億円の現金支援と損失補償5,000万円を追加した旨の話がなされた。

2つの支援策は支援方法も金額も全く別物であり、説明資料も経営全体を俯瞰しているとは到底考えられず、場当たり的である。長

年にわたり赤字経営を続けてきたことを町民および議会に謝罪し経営責任を明確化するべきと考えるがいかがか。

答

(成田町長)

これまで職員と一緒に頑張って営業努力を続けてきたが、経営改善に至っていないことについては町民の皆様や議員の皆様に変えて心配とご迷惑をおかけし、申し訳なく思っている。

問

板柳中央病院の再建計画のときは、第三者が経営監査を行い、監査の意見書にのっとった改革案をつくった。この際、コストをかけてでも、第三者の監査を行い、それにのっとった経営計画を立てる選択肢を考えるつもりはあるか。

答

(成田町長)

今後検討していきたいと思う。

問

第三セクター等の経営は地方自治体から独立した事業主体として自らの責任で事業が遂行されるものであり、経営者の職務権限や責任は明確でなければならず、経営者の任務懈怠により経営が困難な状況に陥り、当該法人の事業の整

理(売却・清算)又は再生を行うこととなった場合等にあっては民事上および刑事上の責任追及が問われることもあることを十分に認識しておくべきであると第三セクター等の経営健全化指針に記載されている。事実、全国で損害賠償訴訟等が提起されている。

抜本的経営改革案の提案もなく莫大な公費投入を2週間という短期間で議会に強いる姿勢は国の指導指針にも反するものである。このようなやり方ではないと考えるか。

答

(成田町長)

りんごワークを支えていくことが町の産業振興や観光振興など多くの分野にとつて様々な効果が期待され、町の発展、地域の活性化につながっていくと考えている。これらを総合的に考えて、りんごワークが運転資金を確保し経営改善を進めるための公的支援をお願いしている。

競争入札談合問題

談合情報がマスコミに流されたにもかかわらず

令和2年8月4日入札執行された板柳中学校解体工事は、大型建築物解体実績がない業者を含めて7社が応札し町内業者が落札率99・06%、2億4,500万円で落札した。

令和2年8月6日の臨時議会における本件議決時に、談合が行われたと思わないか質したところ、公正取引委員会の指導を得るとの話で明快な答弁を得られなかった。億単位の工事金額に對して落札率1%の範囲に應札業者全社がいる状況は談合があったと推察するのが自然だがいかがか。

答

(成田町長)

落札者の決定について、板柳町建設工事最低制限価格制度要綱第5条に、予定価格の制限の範囲の価格で最低制限価格以上の価格をもって入札した者のうち、最低の価格をもって入札した者を落札者として決定すると定めている。

ルールに基づき決定しており、この結果に対して談合云々について話すべき立場ではない。

公正取引委員会の指導はいかがだったのか。

公正取引委員会に即日通報し、その後も各種資料を提出しているが、その後特段指示や指導はない。

コロナ感染者情報秘匿

問

コロナ感染者情報の取り扱いは、誹謗中傷等からの個人保護と地域社会の風評混乱防止のせめぎ合いであり、非常に難しい問題である。当町においては周辺市町村との申し合わせを最優先し、町内関係の感染情報は秘匿され、現在も同様な運用がされているものと考えているが、今後そのような対応で地域社会の混乱を防止できると考えるか。

答

(成田町長)

県においては新型コロナウイルス感染症患者の居住地は、保健所管内の公表までとしている。今後も保健所管内の公表のみとさせていたいただきたい。風評混乱については、引き続きホームページ等を通じて、感染した方への誤解や偏見に基づく差別等が生じることがないように、冷静な行動を呼びかけて防止していきたい。

常任委員会 審査

総務産業厚生 常任委員会

■ふるさと納税

Q 返礼品の中にふるさとセンターのコテージ宿泊券はあるか。

A 以前はあったが、今はない。

Q 町のPRに使えると思うがいかがか。

A どのような方向がいいのか検討していく。



■インフルエンザ予防接種

Q 板柳中央病院で予防接種を受けた人の実績は。

A 11月24日で終了したが、838名である。

■新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金

Q 新型コロナウイルスが発生した施設の職員には1人20万円、それ以外は1人5万円の給付となっている。板柳中央病院は、患者がいなくても医療提供する契約を結んでいるので、職員は1人20万円給付されるのか。

A そのとおりである。

福祉建設文教 常任委員会

■安心電話

Q 7台分の予算を提案しているが、7台あれば、今必要としている人全員に対応できるのか。

A 待機者が2名いて、他に5名程必要としている人がいるという予想から7台分を要求した。

Q サーマルカメラ運用方法は。

A 公民館と多目的ホールあぶるにおいて、入退場をスムーズに実施するために設置をお願いしたい。いきいきセンターにおいて、事務室の近くに置き、発熱者がいた場合はすぐに対応できるようにしたい。

■下水道事業整備計画

Q コロナウイルスの影響で将来どうなるか予想できないが、順調に計画が進んでいるか。

A 令和4年度までに赤田地区、掛落林地区のほうを完成させる予定で進めていたが、令和3年度の半ばくらいまでに終わらせる予定である。残りの石野地区、野中地区、小幡地区へ進めるような計画を立てている。

◆陳情

「学校給食の無償化」を求める陳情



採択

議会の動き (10月~12月)

開催日	会議等名	開催日	会議等名	開催日	会議等名
10月	5日 議案説明会	11月	2日 議員全員協議会	12月	2日 議員全員協議会
	" 議会運営委員会(臨時会案件)		4日 議会だより編集特別委員会		4日 議員全員協議会
	6日 西北津軽郡町議会議長会協議会		11日 町例月出納検査(監査)		" 本会議(定例会日程、町長の提案理由等)
	7日 町例月出納検査(監査)		13日 弘前地区環境整備事務組合協議会定例会		7日 本会議(一般質問・5人)
	8日 臨時会		" 津軽広域連合協議会定例会		8日 総務産業厚生常任委員会(所管事務調査)
	" 議会だより編集特別委員会		" 弘前地区消防事務組合協議会定例会		" 福祉建設文教常任委員会(所管事務調査)
	21日 議会運営委員会(定例会案件)		16日 知事を囲む行政懇談会		9日 本会議(委員長報告、採決、閉会)
	22日 青森県町村議会議長会正副議長・事務局長研修会		18日 国保運営協議会研修会		17日 町例月出納検査(監査)
	29日 議会だより編集特別委員会		19日 議員全員協議会		21日 議員全員協議会
		24日 議案説明会	" 議会運営委員会(臨時会案件)	22日 議案説明会	
		27日 議会運営委員会(定例会案件)	22日 議案説明会	24日 臨時会	
		30日 福祉建設文教常任委員会学校訪問			

一目で分かる審議結果

○全会一致の議案

◆第4回定例会（令和2年12月9日）

議案番号	議案	結果
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて (板柳町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について)	全員承認
承認第12号	専決処分の承認を求めることについて (板柳町職員の給与に関する条例の一部改正について)	全員承認
議案第36号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全員可決
議案第37号	板柳町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について	全員可決
議案第38号	板柳町国民健康保険税条例の一部改正について	全員可決
議案第39号	板柳町税外諸収入滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正について	全員可決
議案第40号	指定管理者の指定について	全員可決
議案第41号	指定管理者の指定について	全員可決
議案第42号	令和2年度板柳町一般会計補正予算（第11号）	全員可決
議案第43号	令和2年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	全員可決
議案第44号	令和2年度板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第45号	令和2年度板柳町介護保険特別会計補正予算（第3号）	全員可決
議案第46号	令和2年度板柳町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第47号	令和2年度国民健康保険板柳中央病院事業会計補正予算（第5号）	全員可決
議案第48号	令和2年度板柳町水道事業会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第49号	令和2年度板柳町下水道事業会計補正予算（第1号）	全員可決
議員発議第5号	板柳町議会議員期末手当支給条例の一部改正について	全員可決

○賛否の分かれた議案

◆第8回臨時会（令和2年12月24日）

議案	氏名	工藤 貢	濱名 康治	佐藤 文俊	鈴木 清孝	成田 陽光	松森 俊逸	今 浩一	葛西 幸男	長内 良蔵	成田 肇	三戸 玲子	結果
議案第50号 令和2年度板柳町一般会計補正予算(第12号)		○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成9人 可決
議案第50号 令和2年度板柳町一般会計補正予算(第12号)に対する附帯決議について(議員発議第6号)		×	欠	○	○	○	○	○	×	○	×	○	賛成7人 可決

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※議長は採決に加わらない。

議案に対する反対討論 松森俊逸議員(無所属)

議案に対する賛成討論 なし

本来であれば、必要のない多額の公金投入を自らが提案してもなお、今現在議会において町長、副町長は経営責任について言及し、謝罪することも、反省の弁を述べることもいまだになく、このことについては義憤を感じざるを得ません。経営陣刷新や実効性のある健全化計画の策定を担保するものは何一つなく、将来の負担増も考えられる現状において、多額の公金投入だけを先行させようとする本議案中のりんごワーク関連の予算は、町政の将来に禍根を残すものだと考えます。

議員発議第6号の内容（発議者：今浩一議員）

りんごワーク研究所経営支援金を執行後、りんごワーク研究所より経営改善計画等を令和3年6月定例会までに議会へ提出説明すること。また、令和3年3月定例会において経営改善計画等の中間報告をすること。併せて、年1回行っていたりんごワーク研究所経営状況の報告を、今後、四半期ごとに報告し、それに係る説明を議会にすること。

附帯決議案に対する反対討論 成田肇議員(公正会)

県内の市町村においても新型コロナウイルスの影響により経営難になっている第三セクターや指定管理者に対して公的支援を行っており、当町においてもりんごワークを支えることが町にとって大きな効果が期待できるものと考えております。

我々公正会は、りんごワーク研究所にしっかりと経営対策に取り組んでいただき、一方的な制約をつけるような今回の附帯決議に反対します。

附帯決議案に対する賛成討論 成田陽光議員(令政会)

議員の中にも、町民の中にも賛否両論がある議題であり、議会としても町民に納得してもらうことが最も大切だと考えております。町からの財政支援、町民の血税を投入する以上、議会のチェック機能を働かせる必要を今まで以上に感じるため、附帯決議に賛成します。

※定例会及び臨時会については、広報いたやなぎにも掲載されています。



視察・研修レポート

青森県町村議会議長会 正副議長・事務局長研修会

昨年10月22日、青森県労働福祉会館大会議室において、講師に山梨学院大学法学部政治行政学科大学院社会学研究科教授、江藤俊昭氏をお招きし、「地方議会改革の最前線（ウイズコロナ時代の地方議会）」と題し、研修会が開催されました。

研修項目の主なものは、議会の存在意義の確認、議論を巻き起こすテーマ、議会の存在意義の再確認、そして町村議会の先駆性と役割という内容でありました。

特に力を入れて講演した内容は、それぞれの自治体で地震災害や河川の氾濫または土砂崩れや津波災害等非常事態・緊急事態に遭遇したとき、地域住民の代表である議員が行政と違う立場でそれぞれが情報収集に努め、その活動結果がしっかりと自治体の支援策に反映される仕組みづくりを構築するため、業務継続計画、いわゆるBCPの作成に取り組みべきと述べておられました。また、今だからこそ、

今後作成する場合は昨今のコロナウイルス感染にも対応できるように活動計画と一緒に組み込んだ業務継続計画にするのが望ましいとのことでありました。

ほかには政策提言の意義、議会運営の継承と改革、議員報酬と定数の見直し、危機状況における専決処分の条件と議会の対応など、議員が自分たちの存在意義を考えると内容の濃い研修でありました。

（副議長 長内 良蔵）



福祉建設文教常任委員会 管内小中学校視察訪問

昨年11月30日、板柳町管内小中学校視察訪問を実施しました。通常であれば所管の各小学校、中学校それぞれ訪問して意見交換並びに事情を伺うところでしたが、今回のコロナ感染ということで、板柳中学校に各学校の校長先生に来ていただき、意見交換を行いました。

教育長、それから学務課長を交えて各中学校長との意見交換を行いました。今回、常任委員会での施設訪問を実施したことにより、各教育現場の意見をしっかりと聞き取りをすることができました。加えて、様々な各学校における問題を解消していく上で、貴重な訪問であったと思います。

（委員長 鈴木 清孝）

主な内容としては、学校長から各学校における今回のコロナ感染予防対策について述べていただきました。この感染予防対策として、特に児童生徒等の体調管理の徹底をするために、児童生徒、教職員、保護者、それぞれが連携して今回の対策を行っている旨をお聞きしました。感染リスクを抑えるための対策として、校内環境における基本的な感染症対策、校内環境の整備、感染症対策に留意した教室、授業、そういった環境の整備をしていることをお聞きしました。



参加者：鈴木清孝委員長、今浩一副委員長、長内良蔵委員、葛西幸男委員、松森俊逸委員、工藤貢委員

議会構成③ (議会選出委員)

監査委員 (成田肇)

監査委員は、地方自治法に基づいて設置する町長から独立した執行機関で、町の財務に関する事務の執行および経営に係る事業の管理などが、法令等に従って適正に行われているかどうか、また、効率的・効果的に行われているかどうかという観点から、各種監査や審査等を行い、その結果を公表しています。

2人の監査委員(識見を有する者から選任される委員1人、議会から選任される委員1人)が置かれており、いずれも議会の同意を得て町長が選任します。任期は4年です。

国民健康保険運営協議会 (三戸玲子・佐藤洋治・葛西幸男・成田陽光)

国民健康保険運営協議会は、国民健康保険税の税率や給付内容など国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するための機関です。

被保険者を代表する委員、保険医又は保険薬剤師を代表する委員、公益を代表する委員で計12人で組織されており、年数回、運営協議会を開催しています。任期は3年です。

都市計画審議会 (成田肇・今浩一・佐藤文俊・濱名康治・工藤貢)

都市計画審議会は、土地利用や道路、公園などの都市施設の整備といった都市計画に関する重要事項を調査審議する機関です。

審議会は、町長により任命された町議会議員、学識経験者及び行政機関の職員による10人の委員によって組織されており、年1~2回審議会を開催しています。任期は2年です。

いたやなぎ町議会だより「夢追人」を募集しています

内容:表紙写真の掲載(町内在住、男女年齢問わず)

募集期間:随時募集

選考方法:議会だより編集特別委員会で審査を行い、選出します。

問合せ:板柳町議会事務局 TEL 0172-73-2111(内線401)

編集後記

皆さま、新年あけましておめでとございます。

新年を迎えましたが、未だに新型コロナウイルスの感染が収まらない状況に、心底新年を祝うことができない状況ですが、まずは一人ひとりがしっかり予防対策に努めていきましょう。

また、成人式を行えなかったことが残念ではありますが、成人式を迎える予定であった皆様に心からエールを送りたいと思います。

(委員 濱名 康治)



【発行責任者】

議長 佐藤 洋治

※第29号発行予定は5月14日頃です。

議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。